

倍の授業におススメ！ 倍ののぼり旗

倍のテープ図定規（くらべてみ～な）を開発した時に、それを使った「倍のテープ図入門」というプリントを作成しました。その冒頭で、

「近所のスーパーに行くと、入口に下のような広告が貼ってありました。これは、
どういう意味でしょう。」

と問いかけ、みんなの考えを出し合うことから授業を始める構成にしました。



そして、みんなの考えを出し合ったあとは、次のお話へと進めます。

【〈倍〉という言葉】

「今だけポイント2倍」というのは、「今日は、いつものポイントの2倍もらえるよ。」ということです。たとえば、ジュースを買っていつも3ポイントなら、今日は2倍の6ポイントもらえるということです。いつも10ポイントなら、今日は20ポイントです。

「倍」というのは、簡単に言いかえれば「いくつ分」ということです。2倍は2つ分、3倍は3つ分のことだと考えればわかりやすいです。けれども、ひとつ気をつけなければならないことがあります。それは、「体重が2倍あるよ」「長さが3倍あるよ」といっても、どれだけあるのかわからないことです。「体重が弟の2倍あるよ」「長さがえんぴつの3倍あるよ」というように、「何の」という言葉があってはじめて意味が通じます。「何の〇倍」でワンセットです。「倍」の問題では、必ず「何の〇倍」をワンセットの言葉として考える習慣をつけましょう。

算数の言葉…「弟の2倍」「えんぴつの3倍」というときの、「弟」や「えんぴつ」を**基準量（もとにする量）**といいます。

言葉の省略…「今だけポイント2倍」の広告には、「何の」という言葉が書かれていません。でも、この広告を見た人は、「ああ、いつもの2倍なんだな。」と気がきます。「何の」が無いのではなく、書かなくても「いつもの」とわかるだろうと考えて、その言葉を省略しているのです。このように「何の」が省略されているときがあるので気をつけましょう。

「倍」を一人歩きさせてはいけません。必ず「基準量の〇倍」とくっつけて考えるようにさせたいという狙いがある、この「今だけポイント2倍」の張り紙を持ち込むのです。そのあとの授業でも、倍のテープ図定規でテープ図を書くときは、「基準量の〇倍」をセットで書くことを強調します。

さて、前置きが長くなりましたが、本題はここからです。先日、近くのスーパーで、

「本日ポイント3倍！」 の 「のぼり旗」

が店内に立ててありました。「これは良い!」と思わず声をあげました。「今だけポイント2倍」の張り紙を持ち込むより、こののぼり旗をなびかせながら教室に入る方が強烈なインパクトがあります。これで倍の授業「つかみはOK!」です。

家に帰ってネットでのぼり旗を検索しました。あるわあるわ! 2倍3倍5倍…よりどりみどりで。値段はいろいろですが1000円少し。おススメです。



検索は「ポイント3倍のぼり旗」で出てきます。

田植えも無事終わりました。

和歌山 小田富生